

## 質疑(応答記録)

公告No. : No. 202

公告日 : 3年 9月 8日

工事名(件名) : 農業センター再整備工事(建築工事)

NO.	図面番号	質 疑 内 容	回 答
1	A-007	現況レベルは計画レベル-300と記載がありますが、事務所棟は45.1と記載がありますので、現況高さは44.8(設計GL)と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	現況高さについては、配置図に記載されている各地点の計画GLより-300となります。尚、45.1は事務所棟のFLです。
2	A-008	現況レベルは計画レベル-300と記載がありますが、作業棟は44.3と記載がありますので、現況高さは44.0(設計GL-300)と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	お見込みのとおりです。
3	A-001	特記仕様書に工事に先立ち必要と思われる埋設物等の調査を行うと記載がありますが、どの様に考えれば宜しいでしょうか。ご指示願います。	既存の埋設管等が存在するため、図面等を参考に調査を行うこと。
4	A-001	建設発生土の処理ですが、※構外搬出適正処理と○構外指示の場所に処分と記載がありますが、構外搬出適正処分と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	建設発生土の処理については、構外搬出適切処理としてください。
5	S-011	作業棟の想定ラップル厚さの記載がありますが、F11~14はF1~4、f11はf1と読み替えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	F-11~14、f11は誤記のため、F11~14はF1~4、f11はf1と読み替えてください。
6	S-010	作業棟の基礎・1階床伏図にHWC及びWWC部の腰壁の記載がありませんが、MWC部同様に考えれば宜しいでしょうか。ご指示願います。	別添図面のとおりとしてください。
7	A-031、S-010	作業棟の天井伏図と下屋及び庇レベル伏図で相違しますが、D-F間の3通りからはねだし部分はCG梁・b梁はないものと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は修正図等の提供をお願いします。	S-010の構造図を正としてください。

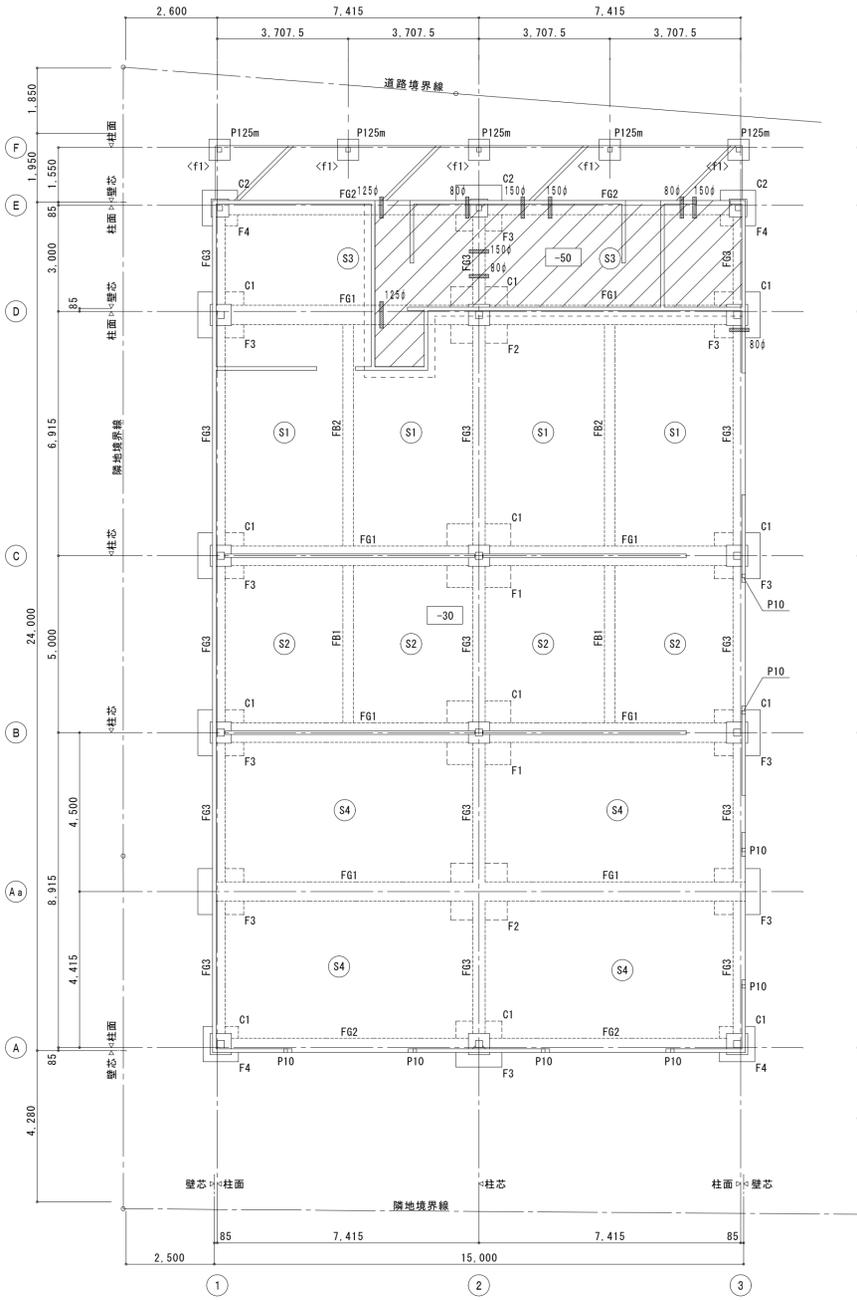
## 質疑(応答記録)

公告No. : No. 202

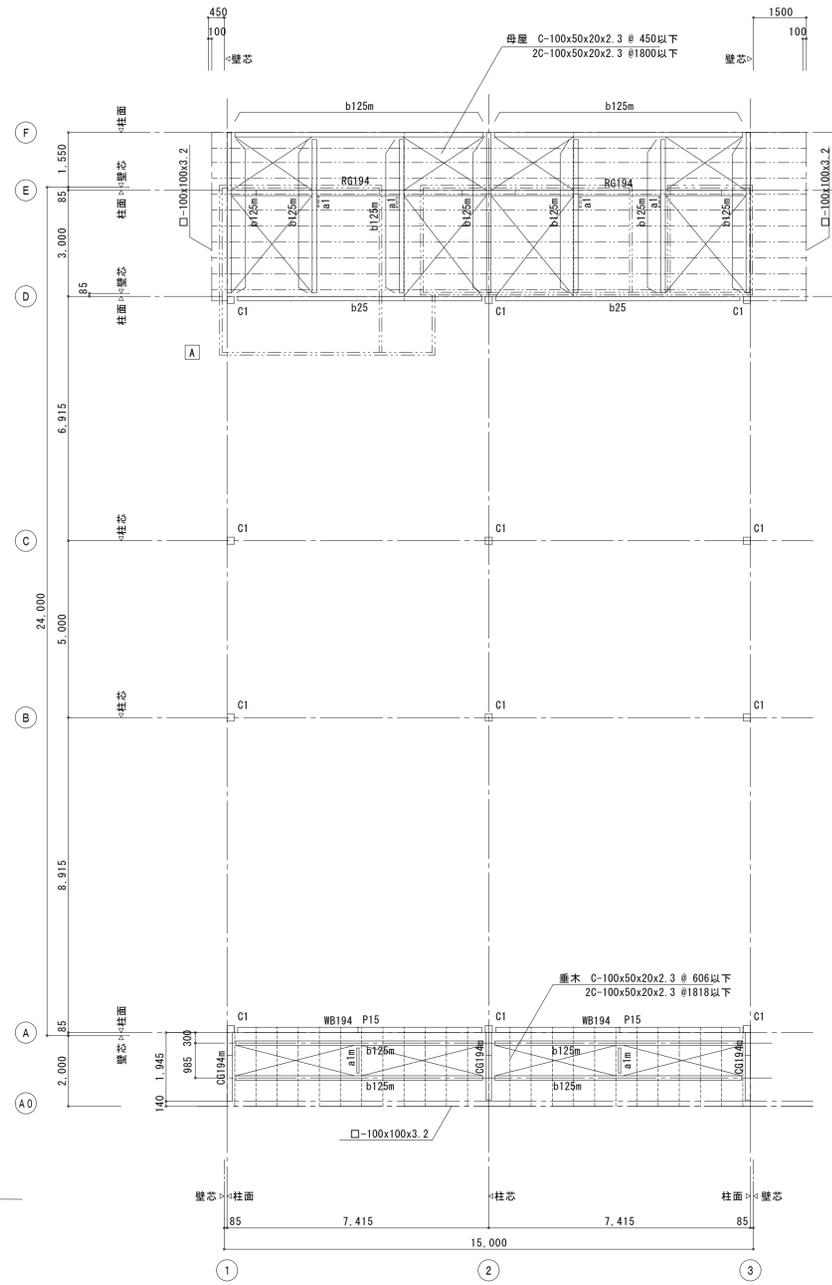
公告日 : 3年 9月 8日

工事名(件名) : 農業センター再整備工事(建築工事)

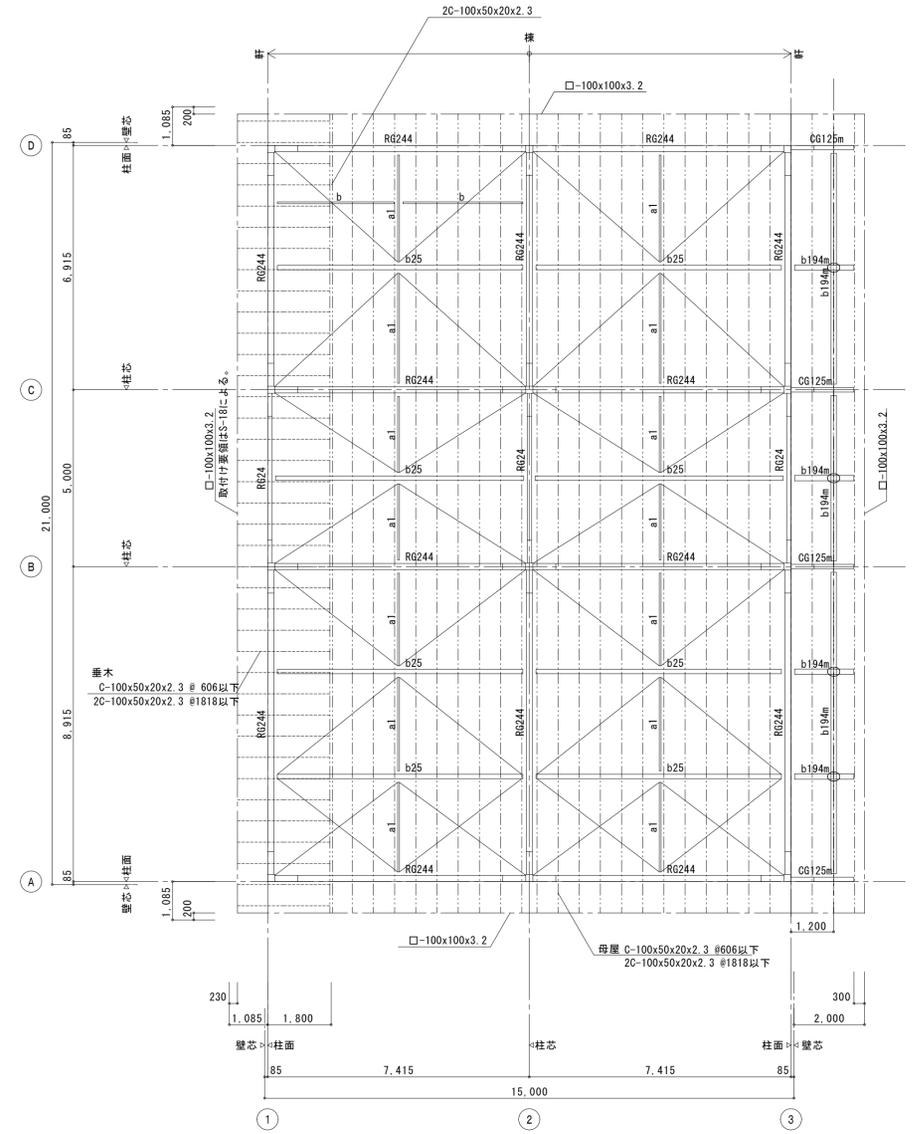
NO.	図面番号	質疑内容	回答
8	A-022、 027、036	作業棟SD-101のW寸法ですが、平面図・展開図ではW3400、建具表ではW3000と相違しています。平面図・展開図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	平面図・展開図を正としてください。
9	A-004、 051	インターロッキングブロック舗装(G-106)に於いて、材質・形状をご指示願います。	A-050に記載のハッチのとおり、100×200×60程度の標準品としてください。
10	A-050、 058	南ゾーンの車止めの数量ですが、外構配置図と仮設計画図で相違していますが、外構配置図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	外構配置図を正としてください。



基礎・1階床伏図 S=1/100



下屋及び底レベル伏図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100

- 特記なき限り下記による
1. 梁天端は、GL-250とする
  2. 基礎下端は、GL-1,250とする
  3. FL=GL±0とする
  4. FL=GL±0とする
  5. 支持層 砂礫層
  6. 地耐力 300kN/m<sup>2</sup>(長期) 400kN/m<sup>2</sup>(短期)

- ・ 梁貫通孔(スリーブ径)を示す
- ・ 梁貫通孔補強は既製品「スーパーハリーZ(Mタイプ) 同等品とし、貫通位置が確定した時点で既製品メーカーに適用範囲の確認及び、設置可否検討を依頼し、監理者の承認を得ること。
- ・ 梁せいの1/10未満の梁貫通孔は補強不要とする。

- 特記なき限り下記による
1. : 水平ブレース HV1 を示す
  2. 鉄骨継手位置は、軸組図参照
  3. は、内壁剛縁の頭つなぎ □-100x50x5x7.5 を示す
  4. 範囲の頭つなぎは、上部屋根梁から吊ること。吊材は頭つなぎと同じ断面とする
  5. A、E通りより外部の鉄骨は溶融垂鉛メッキとする。
  6. 小梁位置はスパン等分とする。
  7. 水平ブレース交点は取り合う部材芯とすること。

- 特記なき限り下記による
1. : 屋根勾配を示す。
  2. : 水平ブレース HV1 を示す
  3. : 小梁剛接合を示す
  4. 鉄骨継手位置は、軸組図参照
  5. bは吊材受け材 □-100×50×5×7.5を示す @2000以内で吊ること GR-6 HTB 2-M16
  6. 3通りより外部の鉄骨は溶融垂鉛メッキとする。
  7. 小梁位置はスパン等分とする。
  8. 水平ブレース交点は取り合う部材芯とすること。



構造設計：株式会社平野構造技術<一級建築士 第282608号・構造設計一級建築士 第3858号 平野 進>

記	工事名称	農業センター再整備工事 (建築工事)		設計年月	令和3年7月
	設計者	株式会社 緑企画設計	名古屋支店	図面名称	【作業棟】 基礎・1階床伏図 下屋及び底レベル伏図・屋根伏図
事	設計者	一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-29) 第11452号	印	縮尺	A1:1/100
	設計者	一級建築士 (大臣) 第270315号 管理建築士 犬飼 和行		図面番号	S-010

※A3版の場合は50%縮小とする。